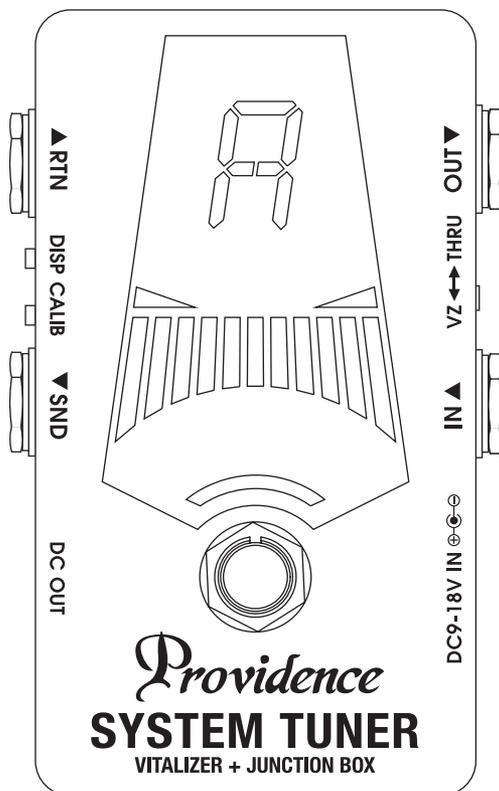


Providence[®]
Handcrafted in JAPAN

TOTAL ROUTING SYSTEM with TUNER
SYSTEM TUNER
STV-1JB

Tuner TECH by **KORG**

取扱説明書



このたびはPROVIDENCE製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を末永くご使用頂くためにも、必ずこの取扱説明書をご一読下さい。

■主な特長

●トータルルーティングシステム～シグナルジャンクションボックス機能

IN/OUTジャックとSEND/RETURNを活用することにより、チューニング時にペダルシステムの最終にミュートをかけるトータルルーティングシステムとして使用できます。またジャンクションボックスやスプリッターとしても使用できます。

(a)スプリッターとしても機能可能

搭載したVITALIZERをオンにしてSENDとOUTを使用し信号をパラレルに出力するとアクティブなスプリッターとして機能することができます。二台のアンプを使用したい時、エフェクトとDRYの信号を同時に使いたい時、アンプとミキサーに同時に信号を出力したい時などにも使用できます。

(b)使いやすいレイアウト

ペダルボードでの使用を想定し使いやすさを追求した各ジャック類のレイアウトでスペースを有効に使えます。

●VITALIZER

今やペダルシステムに欠かせないVITALIZERを搭載。音質変化を極力抑えた自然な音質で信号をローインピーダンス化し、ジャック/プラグやスイッチなどの接点を多数経由するペダルシステムや長いケーブルの使用時などの音質の変化や劣化を防ぎます。VZ/THRU切り替えでパッシブ信号のまま出力できるので、トゥルーバイパスを多用しているシステムにも対応できます。

●システムの最終にかかるMUTE機能～スイッチャーや複数のペダルを直列で使用の場合通常のチューナーは一般的にペダルシステムの初段に配置されるため、チューナーをONにする場合は初段でミュートがかかります。STV-1JBは、SEND/RETURNを使用しペダルシステムを組んだ場合、システムの入り口でチューニングし、最終でミュートをかけることができます。最終でミュートすることにより、ペダルシステム内で発生したノイズや不要な残響音などを演奏していない時にシャットアウトすることができます。

●超高精度で視認性に優れたKORG社 Pitchblack Advanceを搭載

フットスイッチでチューナーをオンにすると音声信号がミュートされ、アンプから不要な音を出さずにチューニングができます。またチューナーがオフの時には、信号ラインとチューナー回路とはリレースイッチで分離されますのでデジタルノイズなどの混入は皆無です。

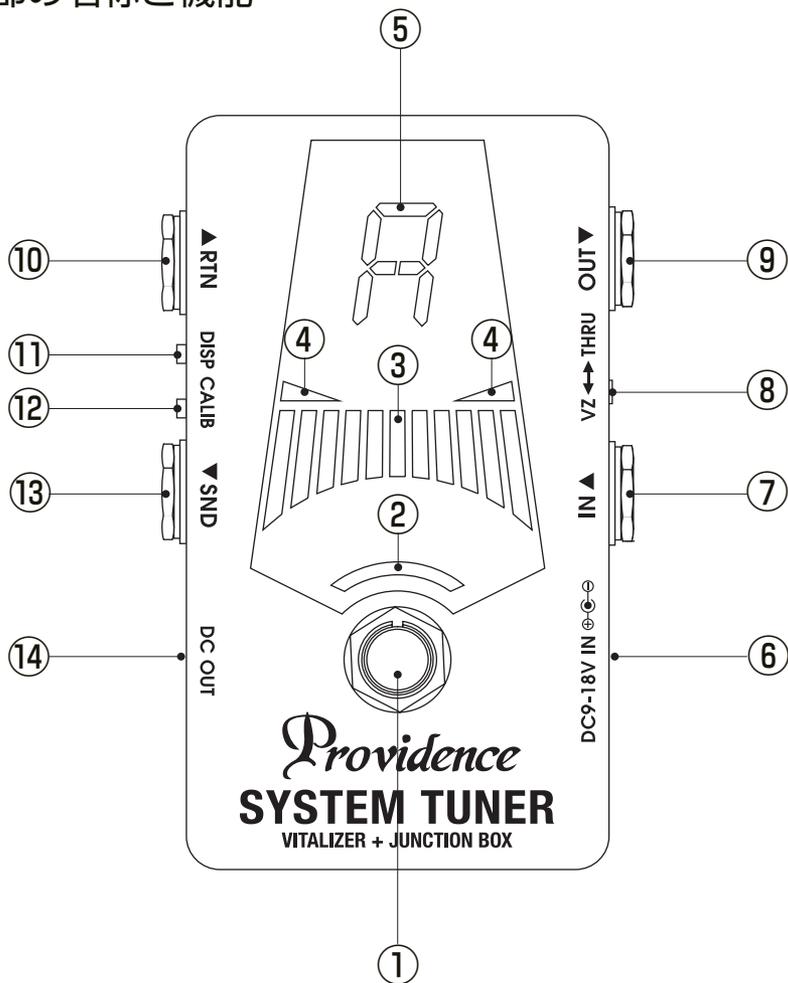
●出力可能なDC9V～18Vまでの電源電圧入力に対応

DC INに接続された電源電圧を他のエフェクターにも電源として供給できます。入力電源電圧はDC9～18Vまで対応し、DC OUTは入力された電圧がそのまま出力されます。今お使いのエフェクターのACアダプターを使用することができ、省スペースを図ることもできます。また、DC OUT回路には接続したDCケーブルや外部機器の故障などで万一ショートした場合でも過電流保護機能が備わっておりDC9～18VのACアダプターやパワーサプライなどの外部電源を事故から保護します。また過電流保護機能には作動後の自動復帰機能も付加されています。

●006P電池(内部収納)でも動作します。

この電池でチューナーのキャリブレーションとモードの設定を保持します。

■各部の名称と機能



- ①TUNER ON/OFF:チューナー機能のオン/オフ スイッチです。チューナー オンで OUTの信号がミュートされます。
- ②TUNER ON/OFF LED:チューナー機能のオン/オフ表示LEDです。チューナー オンで赤色に点灯します。このLEDは電池残量インジケータ機能も兼ねており、電池が6Vを切ると点滅します。点滅したときは電池を速やかに交換してください。
- ③チューニングLEDメーター:LEDの点灯の動きでチューニングを表示します。
(※「チューニング」)
- ④チューニング・ガイド LED:低いほうにずれている場合は左側の、高いほうにずれている場合は右側の、合っているときに両方の、LEDが点灯します。
- ⑤音名表示:単音で入力されている音程の近似値の音名がアルファベットで表示されます。

- ⑥DC IN:外部電源(ACアダプター)を接続します。DC9~18Vまでの電圧に対応します。センターチップ・マイナス(⊕●⊖)、電圧レギュレート・タイプの電源を接続してください。
- ⑦IN:入力ジャックです。ギターやベース等の楽器を接続します。
- ⑧VZ⇄THRU:バイタライザーを通すか、バイパスするかを設定するスイッチです。VZ側でバイタライザーを通過します。THRU側では本機のINからOUTまでパッシブ(トゥルーバイパス)回路になります。

バイタライザーとは？

信号の音質を極力変えずにアクティブ・ローインピーダンス化しケーブルやスイッチの接点などの劣化要因に対し信号を強化する働きがあります。特にパッシブタイプのピックアップを持つ楽器には効果を発揮します。アクティブタイプのピックアップの楽器でも、バイタライザーを通すことで外来ノイズなどに対し効果を維持する働きがあります。

- ⑨OUT:出力ジャックです。アンプなどに接続します。本機のミュート回路はこの出力ジャックの直前で機能し、センド・リターン・ジャックの間につないだエフェクター接続の最後で音をミュートします。ステージ上でチューニング時の音や接続したエフェクターのノイズなども一括してミュートすることができます。
- ⑩RTN:リターン・ジャックです。センド・ジャックからエフェクターを接続経由した信号をこのジャックに戻します。
- ⑪DISP:チューナーのディスプレイ・モードを変更するスイッチです。
(☞「チューニング」、「ディスプレイ・モードの設定」)
- ⑫CALIB:チューナーのキャリブレーションを設定するスイッチです。
(☞「チューニング」、「キャリブレーションの設定」)
- ⑬SND:センド・ジャックです。エフェクト・ループ接続でこのジャックから他のエフェクターに接続します。
- ⑭DC OUT:DC電源出力です(⊕●⊖)。DC INに接続された電源電圧を他のエフェクターにも電源として供給します。本機の入力電源電圧はDC9~18Vまで対応しますが、このDC出力は入力された電圧がそのまま出力されますので、本機を通して他のエフェクターに電源を供給する場合は注意が必要です。
※電池で動作している場合は、DC OUTから電源は供給できません。

ご注意

本機は出力電圧を調整することはできません。DC INにつないだACアダプターなどの外部電源の電圧がそのまま出力します。電圧が必ず電源供給するエフェクターの電源電圧に合ったものを使用してください。更に供給する合計消費電流が1.5Aを超えないように注意して使用してください。DC OUTから電源を供給する場合、DC INにつなぐACアダプターなどの電源機器は供給するエフェクターの消費電流(複数の場合は合計消費電流)の2倍程度の余裕のあるものを目安として使用してください。

例:供給機器の合計消費電流が500mAの場合、ACアダプター等の電源は1A程度かまたはそれ以上の出力電流容量のものをご使用ください。また、DC OUT回路には接続したDCケーブルや外部機器の故障などで万一ショートした場合でも過電流保護機能(※2)が備わっておりACアダプターなど外部電源を事故から保護します。この過電流保護機能には作動後の自動復帰機能も付加されています。

※2: 1.5A以上の電流が流れ続けるとこの機能が作動します。

■チューニング

●チューニングの方法

1. TUNER ON/OFFスイッチを押して、チューナーをオンにします。
TUNER ON/OFF LEDが点灯します。INに入力した信号はOUT(またはSND)から出力されません。
※TUNER ON/OFFスイッチは、チューニングする楽器をINに接続しているときに有効になります。
※オート・パワー・オフ機能:最大4時間入力がないときは、自動的にチューナーがオフになります(電池使用時の電流消費を抑えるため、電源電圧が9V以下では20分)。また自動的にチューナーがオフになった場合、OUT(またはSND)から出力しない状態でオフになります。TUNER ON/OFFスイッチを押して、再度チューナーをオンにしてから使用してください。
2. 必要に応じてキャリブレーションとディスプレイ・モードを設定します。
(☞「キャリブレーションの設定」、「ディスプレイ・モードの設定」)
3. 楽器を単音で弾きながら、合わせたい音名が音名表示に表示されるように、おおまかにチューニングします。
音名表示には、入力した音に一番近い音名が表示されます。
4. LEDメーターで、楽器を正確にチューニングします。
ディスプレイ・モードの設定によって、ピッチのズレを表示する方法が異なります。
(☞「ディスプレイ・モードの設定」)
5. チューニングが終了したら、TUNER ON/OFFスイッチを押して、チューナーをオフにします。
TUNER ON/OFF LEDが消灯します。INから入力した信号はOUT(またはSND)から出力されます。

●キャリブレーション(基準ピッチ)の設定

キャリブレーション(チューニングするための基準ピッチ、ピアノ中央のラの音=A4)を436 ~ 445Hzの範囲で設定します。工場出荷時は440Hzに設定されています。

1. ⑫CALIBボタンを押します。
現在の設定が音名表示に数秒間表示されます(点灯→点滅)。
2. 設定が表示されている間にCALIBボタンを押して、キャリブレーションを設定します。
ボタンを押すたびに設定が切り替わります。
0:440Hz、1:441Hz、2:442Hz、3:443Hz、4:444Hz、5:445Hz、
6:436Hz、7:437Hz、8:438Hz、9:439Hz
3. 設定が終わったら、ボタンを操作せずに2秒程度待ちます。
音名表示が点滅し、キャリブレーションの設定が完了します。その後チューニングできる状態に戻ります。

●ディスプレイ・モードの設定

ピッチのズレを示す表示パターンを設定します。
4種類の表示パターンから選びます。
工場出荷時はレギュラーに設定されています。

1. ①DISPLAYボタンを押します。

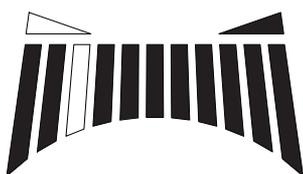
現在の設定が音名表示に数秒間表示されます(点灯→点滅)。

2. 設定が表示されている間にDISPLAYボタンを押して、表示パターンを選びます。

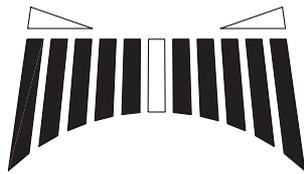
押すたびに設定が切り替わります。

“1” レギュラー

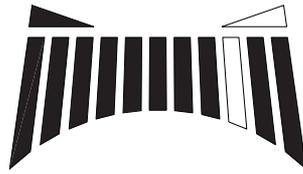
LEDメーターの中央のLEDが点灯するように楽器をチューニングします。
LEDの点灯は、ピッチが高いときは中央より右側へ、低いときは左側へ移動します。



低いほうに
ずれているとき



チューニングが
合っているとき

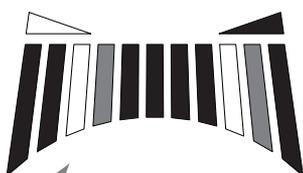


高いほうに
ずれているとき

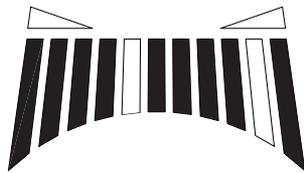
“2” ストロボ

LEDメーターの点灯の流れが止まるように楽器をチューニングします。
精度が高いので、より正確なチューニングが可能です。

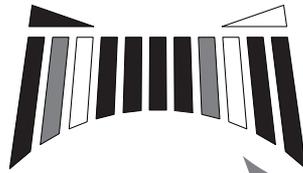
LEDメーターの点灯は、ピッチが高いときは左から右へ、低いときは右から左へ流れます。



低いほうに
ずれているとき



チューニングが
合っているとき



高いほうに
ずれているとき

“3” ハーフ・ストロボ

LEDメーターの点灯の流れが止まり、中央のLEDだけが点灯するように楽器をチューニングします。ピッチが高いときはLEDメーターの中央より右側で、ピッチが低いときはLEDメーターの中央より左側でストロボを表示します。ピッチが合うと、中央のLEDだけが点灯します。



“4” ミラー

LEDメーターの左右に点灯している2つのLEDが中央で重なるように楽器をチューニングします。LEDの点灯は、ピッチのズレが大きいほど両端へ移動します。



3. 設定し終わったら、ボタンを操作せずに2秒程度待ちます。

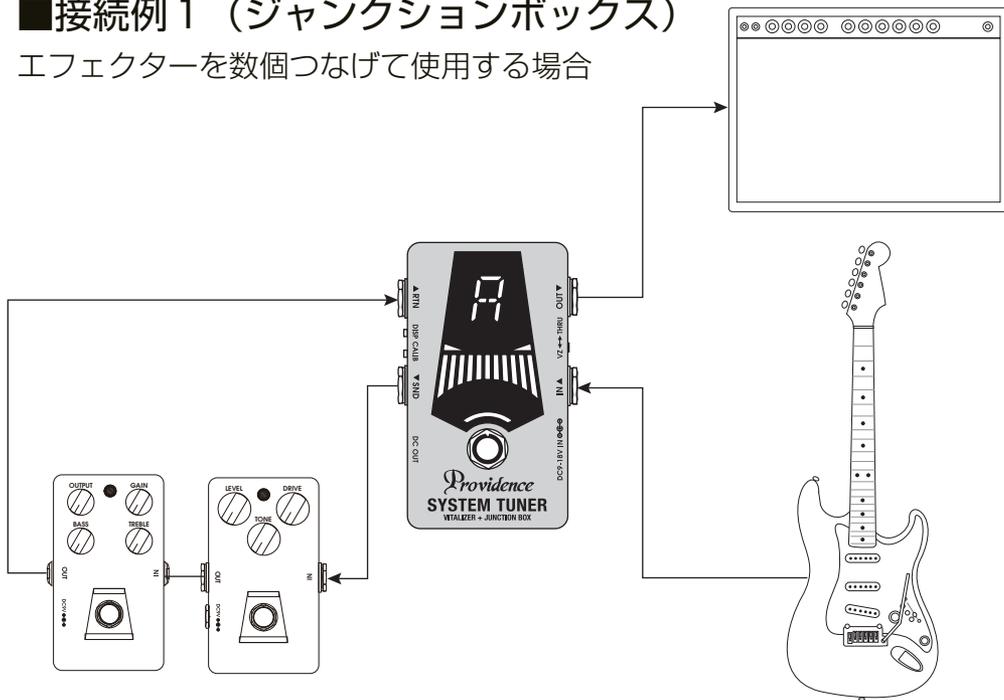
音名表示が点滅し、ディスプレイ・モードの設定が完了します。その後チューニングできる状態に戻ります。いずれのモードでもチューニング・ガイドLEDは、ピッチの高低を表示します。ピッチが高いときは \blacktriangle 、低いときは \blacktriangleright が点灯し、チューニングが合うと両方が点灯します。

ご注意

キャリブレーション値、ディスプレイ・モードの設定は、電源がオフの状態でも保持されます。ただし、内蔵の電池を外した場合や、電池の消耗により電源が供給できなくなった場合には、工場出荷時の設定に戻ります。

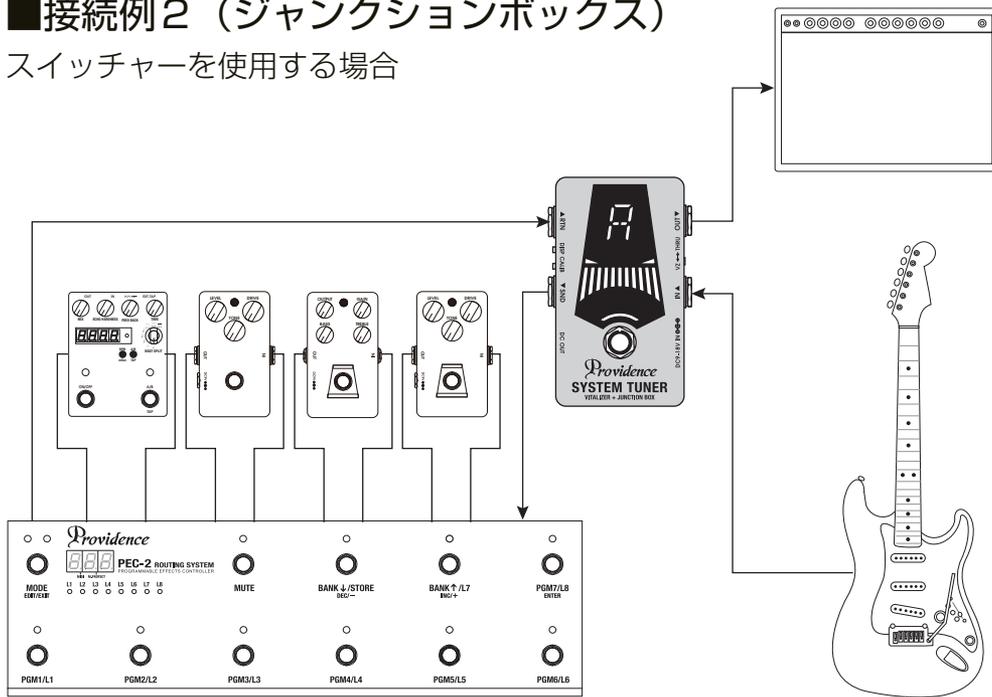
■接続例1 (ジャンクションボックス)

エフェクターを数個つなげて使用する場合



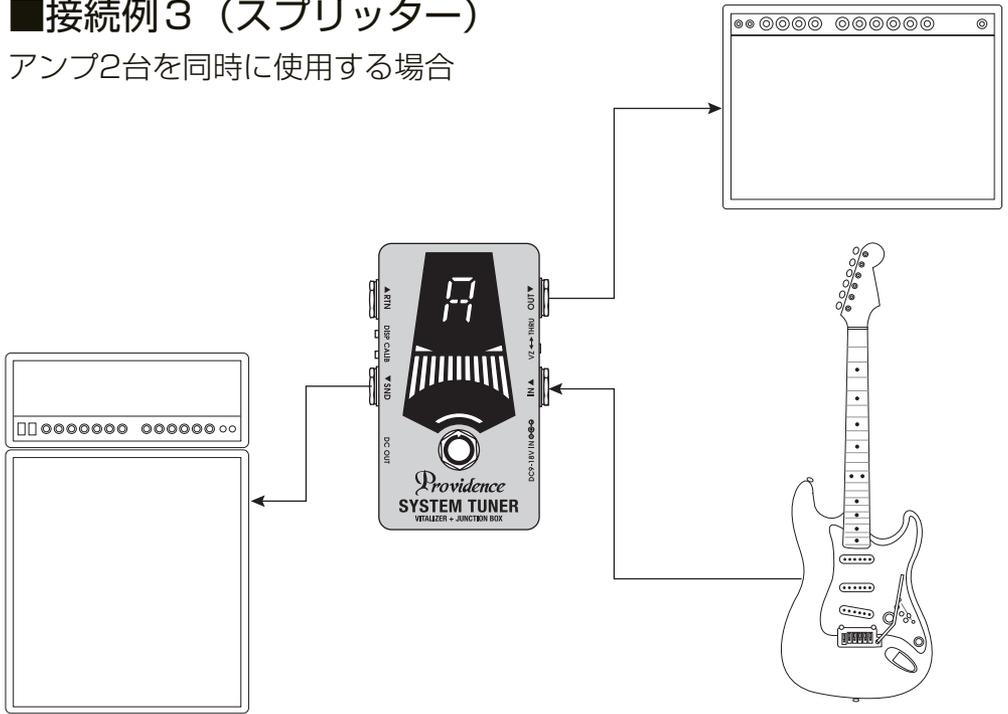
■接続例2 (ジャンクションボックス)

スイッチャーを使用する場合



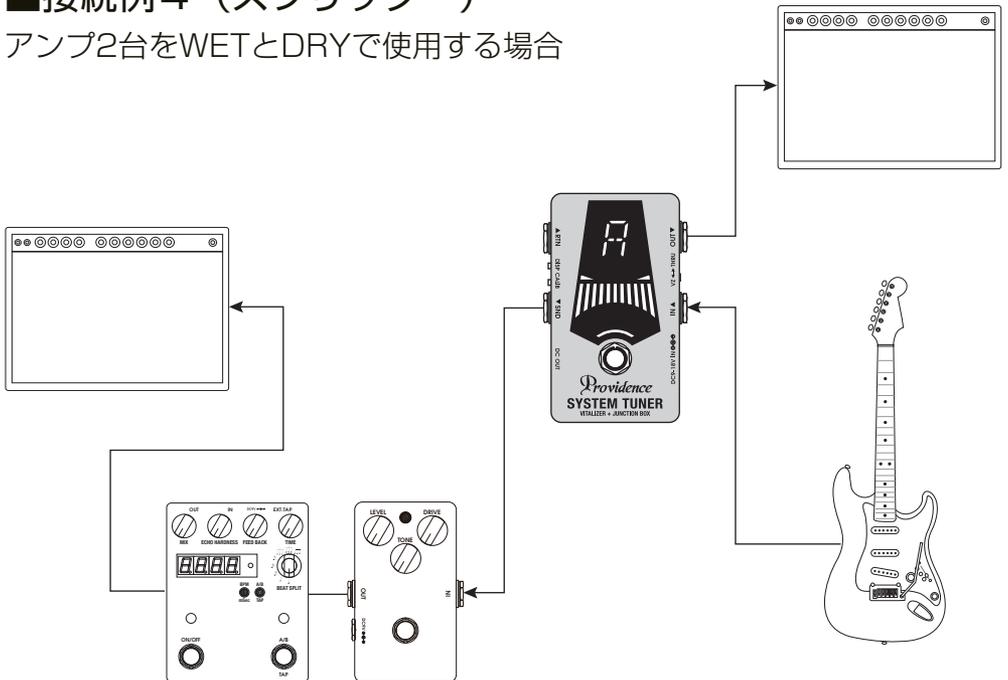
■接続例3 (スプリッター)

アンプ2台を同時に使用する場合



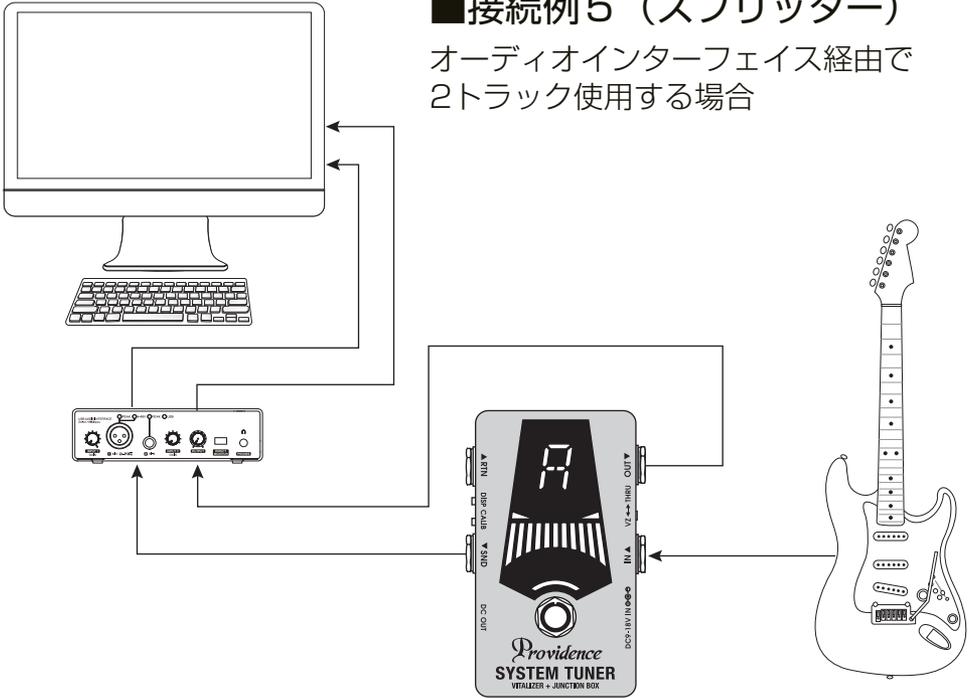
■接続例4 (スプリッター)

アンプ2台をWETとDRYで使用する場合



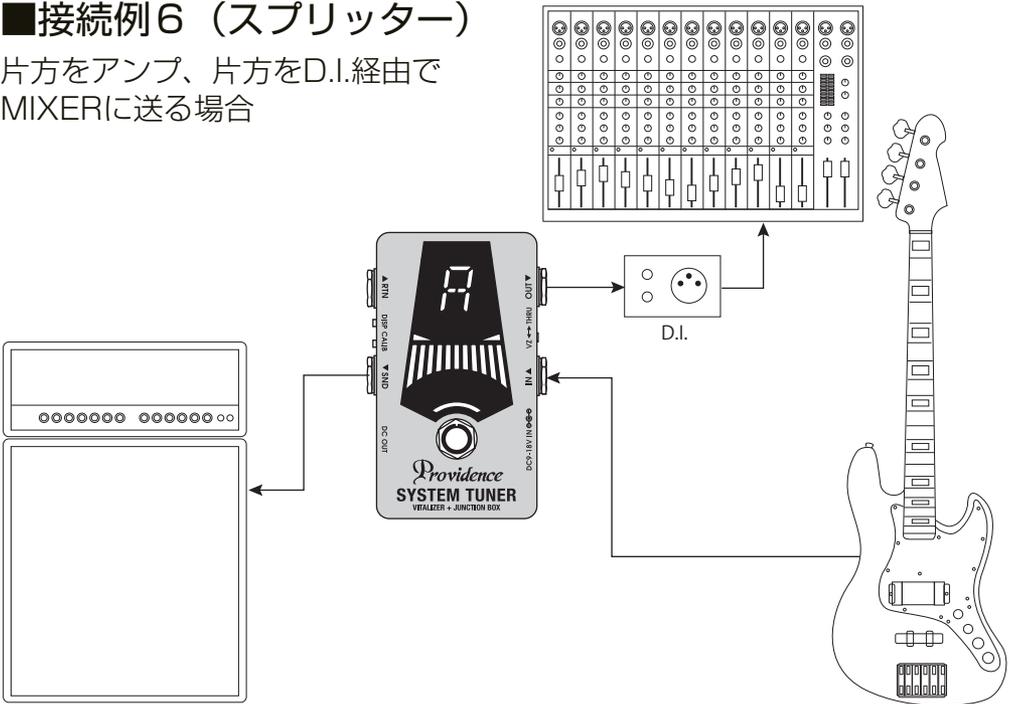
■接続例5 (スプリッター)

オーディオインターフェイス経由で
2トラック使用する場合



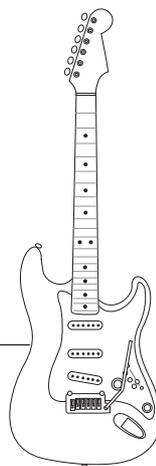
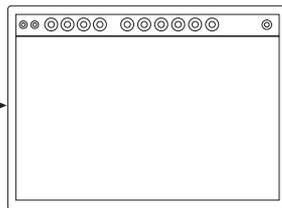
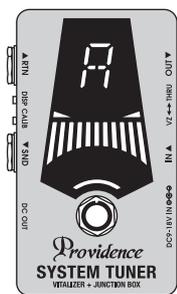
■接続例6 (スプリッター)

片方をアンプ、片方をD.I.経由で
MIXERに送る場合



■チューナー単体での使用

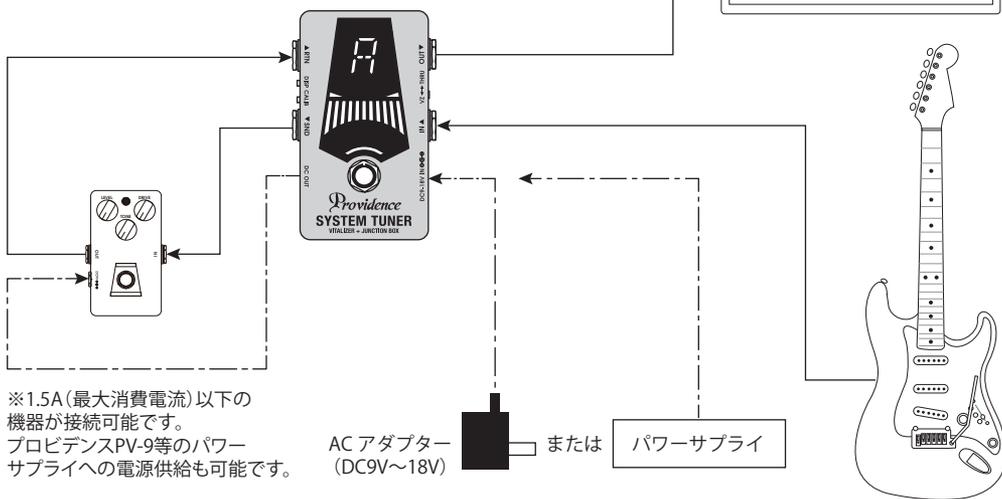
チューナー単体として接続する場合



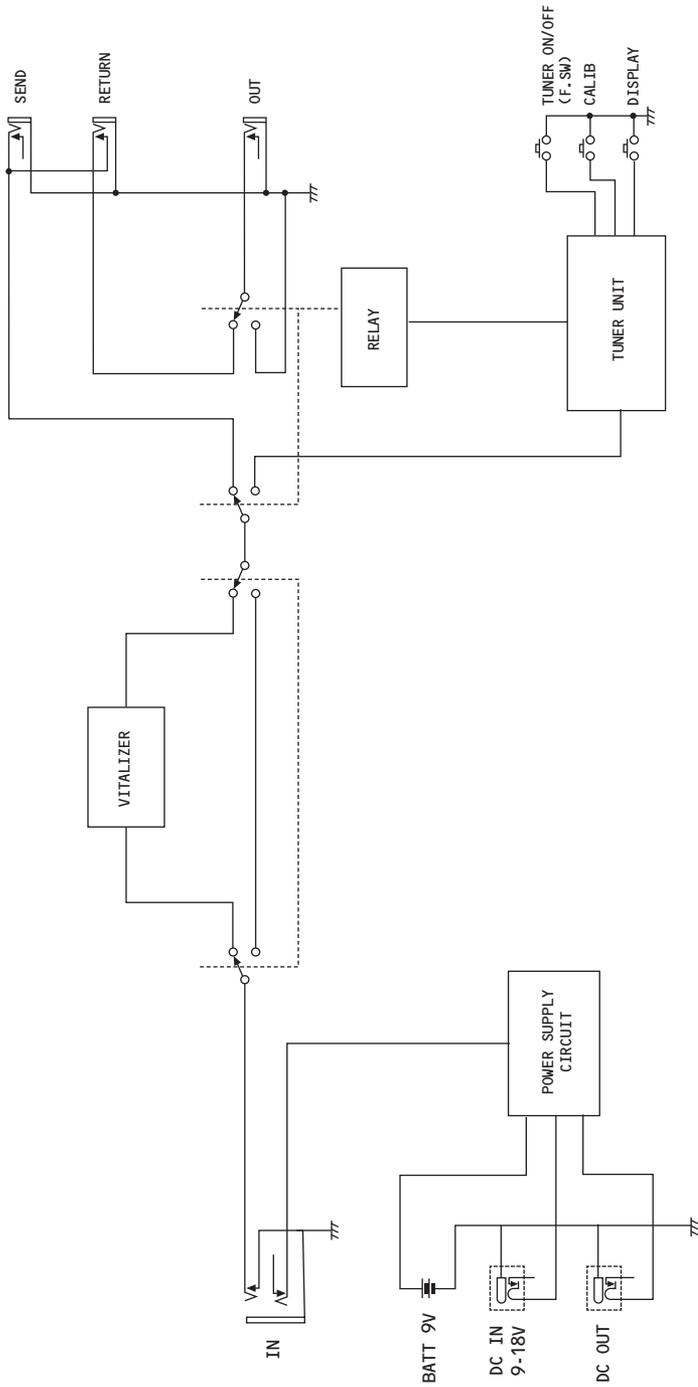
■電源を他の機器に供給する

ACアダプターやパワーサプライからの電源 (DC9V~18V) を他の機器に供給する場合

※1.5A以下の機器へ電源を供給できます。



■ブロックダイアグラム



■主な仕様

●バイタライザー

入カインピーダンス: 1M Ω

出カインピーダンス: 100 Ω 以下

●入出力

IN、OUT、SEND、RETURN、DC IN、DC OUT

●コントロール

チューナー: CALIB(タクト・スイッチ)、DISPLAY(タクト・スイッチ)

信号: VITALIZER \leftrightarrow THRU(スライド・スイッチ)、

TUNER ON/OFF(フット・スイッチ)

●チューナー(KORG社Pitchblack Advance)

音律: 12平均律

測定範囲: E0(20.60Hz) ~ C8(4186Hz)

基準ピッチ範囲: A4=436 ~ 445Hz(1Hzステップ)

測定精度: ± 0.1 セントFEED BACK(VR、アナログ回路)

●電源

9VバッテリーおよびDC9~18V 安定化タイプ ACアダプター(各別売)

●消費電流

最大27mA(ACアダプター接続使用時)、最大12mA(9V電池使用時)

●電池寿命

チューナー・オン時、連続約30時間

(9V形マンガン乾電池使用、A4連続入力時、ディスプレイ・モード:レギュラー)

チューナー・オン時、連続約60時間

(9V形アルカリ乾電池使用、A4連続入力時、ディスプレイ・モード:レギュラー)

●サイズ

115(D) × 76(W) × 50(H)mm

●重量

約220g(電池含まず)

■電池交換時、キャリブレーション値とディスプレイ・モードの設定を保持する

電池交換の際、内蔵電池を外すとキャリブレーション値とディスプレイ・モードの設定は初期設定にリセットされます。

※この設定を記憶させたままにするには、電池を交換する前にINにケーブルのプラグを刺し、ACアダプターから電源を供給し本体を動作させながら電池を交換すると、設定を記憶したままにすることができます。

安全上のご注意

ここに記載したマークには次のような意味があります。



警告

この表示を無視して取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して取扱を誤った場合、使用者が傷害または物的損害を負う可能性があります。

この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでからご使用下さい。



警告

- この機器を分解したり、改造したりしないで下さい。
- 内部基板に直接触れないでください。また、内部のパーツはユーザーの方に扱える部品はありません。故障の際はお買上げ店、または当社まで御相談下さい。
- 次のような場所でのご使用や保存はしないで下さい。
 - 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機の近く、発熱する機器の上など)
 - 水気のある所(風呂場、洗面所、濡れた床など)や湿気の多い場所
 - ほこりの多い場所
 - 振動の多い場所
- 電源プラグは必ずAC100Vの電源コンセントをご使用下さい。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重たいものを乗せないで下さい。電源コードが破損し、感電、火災、ショートの原因となります。
- 次のような場合には直ちに電源を切り電源コードを外し、お買上げ店または当社に修理を依頼して下さい。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 本体内部に異物が入ったり、液体がこぼれたりしたとき
 - 機器が雨などで濡れたとき
 - 機器に異常や故障が生じたとき

注意

- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。
- 電池を使用する機器の場合は「+」「-」を間違えないようにセットして下さい。
- 本体を落としたり、上に乗ったりして過剰な衝撃や圧力を加えないで下さい。
- 本機のスイッチは素足などで踏まないで下さい。思わぬけがの元になる場合があります。
- 本体をベンジンやシンナーで拭くと変形や色落ちの原因になりますのでお止め下さい。

■バッテリー交換時の注意事項

- バッテリーを交換する際には、バッテリースナップのケーブルを強く引っ張らないでください。
- 裏蓋を締める際には、バッテリースナップのケーブルがケースと裏蓋の間に挟まっていないかどうか、確認してから閉めて下さい。ケーブルを挟んだまま裏蓋を閉めると、バッテリースナップのケーブルの断線、もしくは電源回路のショートにつながり故障の原因となります。

■外部電源入力ジャック(ACアダプター・ジャック)が装備されている製品についての注意事項

- 外部電源(ACアダプター)をご使用の際にもバッテリーを入れておくことをお勧めします。誤ってACアダプターのプラグが外れた場合でも、バッテリー側に電源回路が切り替わり演奏を続けることができます。
- やむなく外部電源(ACアダプター)のみで使用する際は、バッテリースナップの電極(バッテリーのプラスとマイナスにつながる金属部分)が内部の回路やシャーシに触れないように、ビニールテープなどを貼ってご使用ください。電極が回路等に接触すると故障の原因となりますのでご注意ください。

保証書

この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

この製品は厳格な検査を経て出荷されておりますが、万一ご使用中に製造上の不備による故障が発生した場合、本保証書の規定により、無償修理致します。

保証規定

1.お買い上げの日より1年以内に限り、正常なご使用状態において故障した場合には無償で修理させていただきます。ただし、次の項目に該当する場合には保証期間内でも実費有料修理となります。尚、出張修理は致しません。

- お取り扱い方法が不適当なために生じた故障、本製品の部品、回路等に対し、改造又は修理が加えられた場合。
- 消耗部品の修理又は交換の場合。
- お買い上げ後の運搬、落下等による損傷及び故障の場合。
- 火災、地震、風水害、異常電圧、その他天災地変による損傷及び故障の場合。
- 保証書のご提示がない場合、又は保証書に諸事項のご記入がない場合。

2.本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)

※販売店、及びお買上日は必ずご記入下さい。

※本保証書はいかなる場合でも再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

製品名：STV-1JB

シリアル No.：

お買上日： 年 月 日

販売店名：

●ユーザー登録について

弊社では製品に関する十分なアフターフォローを行うために、ユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録をしていただくことで、修理及びメンテナンスなどの他、今後の製品開発において大切な資料となりますので必ず登録を行って下さい。

ユーザー登録は下記URLよりご登録ください。

<http://www.providence.jp/support/resist.html>

PACIFIX, LTD.
SOUND PRODUCT & SYSTEM DESIGN

株式会社パシフィクス

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-21-7

TEL. 045-510-4060